カ!	ノキュラム区分	†	2カ	リ		3	シラバス区分			学部	8生		
科目区分專門科目		科目コード	履修	時期	開講学	かま礼	選択区分		科目名(上段:和名、下段:英名) 時間				単位
		1711 1	学年	学期	ל כיו ם נדלו	-1-T	送扒色力		付日右(上戌・相右、「戌・夹右)			바기타기	+111
		238	3年	前期	看護学	△科	必修		在宅看護方法論				1
									Home	Care Nursing Me			
r/a m	±4.	E	¥		фп * з	<u> </u>	担当教員	440)	+m *		
窪田	用 护	長尾奈美			奥田 美惠	<u></u>	瀬戸	俗		河野 瑠奈	吉田美	田和本	
					関連	車する[DPキーワード	(看	護学科)				
0	① 幅広い視野	子と豊かな感性	を身に	つけ、		anner en en	*******************		な看護が実践で	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
0	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。												
0	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。												
	回 地域で生活する核雑・多様な対象を、専門的知識に基づさ総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。												
	 ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。 ⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。 ⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。 ⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。 												
					関連す	トるDP)キーワード(E	塩床	検査学科)				
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。												
	② 医学的に必	要な専門知識	・技術を	備え、	検査データ	を総合	合的に解析する	力を	と身につけている	ó.			
	③ 多職種間で	連携・協働し	ながら医	学検査	査の専門家 と	こして訂	貢献できる力を	:身に	こつけている。				
	④ 医学検査と	それぞれに関	連した幅	重広いた	予野の発展・	・向上の	のために、自ら	の負	も力を高める自c	己教育力を身につい	けている。		
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。												
							1십 째 □ 1						
春 養妻	当とその家族の 望	担か生活に焦さ	5を当て	療恙.	生活の支援	に必要	授業目的	· 拉	術を理解するこ	とができる			
, /示 及上	, _ 、 <i>、 、 3</i> \ <i>\\</i> \\\\\\\\	ヒコエルにボホ	ハロコしょ	、水成	エルンス収	・ールン女	、いっとかにHJハH印以	JX	rin ヒケエハナ フ つ し	- 12 C C 20			

療養者とその家族の望む生活に焦点を当て、療養生活の支援に必要な基礎的知識・技術を理解することができる。 在宅看護の事例をもとに、療養場所や介入時期別の療養生活の支援方法をグループで学習することができる。

到達目標(授業目標)

- 1. 在宅看護における健康や療養生活を捉える視点を記述できる。
- 2. 療養者の望む生活を支えるために必要な法制度や社会資源について、事例と関連付けて説明できる。
- 3. 療養者とその家族の意向を尊重した療養生活支援計画(ケアプラン)を立案することができる。
- 4. 療養場所や介入時期に応じた看護師の役割を説明できる。

	授業計画(項目・内容と方法・担当者)								
1回	療養生活を支える看護の考え方:在宅看護方法論のガイダンス、地域包括ケアにおける在宅看護の役割(窪田静、長尾奈美)								
2回	急性期医療・リハビリテーション医療を経て在宅療養生活に移行する療養者の支援(窪田静)								
3回	療養生活を支える看護の考え方:望む生活に焦点を当てたアセスメント1 (長尾奈美)								
4回	療養生活を支える看護の考え方:望む生活に焦点を当てたアセスメント2(長尾奈美)								
5回	在宅療養生活の実際:在宅療養者の生活の実際と望み(教育協力者、窪田静、長尾奈美)								
6回	在宅看護における多職種・多機関との連携・協働(窪田静)								
7回	在宅療養準備期~移行期の看護:在宅療養生活の調整・ケアプラン作成(長尾奈美、窪田静、奥田美惠、瀬戸裕一、河野瑠奈)								
8回	在宅療養準備期~移行期の看護:在宅療養生活を支える制度と仕組み((長尾奈美、窪田静、奥田美惠、瀬戸裕一、河野瑠奈)								
9回	在宅療養環境の調整技術:排泄・入浴における在宅療養者の望み、グループ演習:望みを実現する環境調整(窪田静、長尾奈美)								
10回	訪問看護の実際と看護師の役割(教育協力者)								
11回	在宅療養安定期~増悪期の看護:訪問看護の仕組みと提供方法(長尾奈美)								
12回	在宅療養安定期~増悪期の看護:望む生活を支えるための支援計画(長尾奈美)								
13回	在宅療養安定期~増悪期の看護:本人・家族の生活の調整、ACP(長尾奈美)								
14回	在宅における終末期看護の実際:在宅療養者のエンドオプライフケア(吉田美由紀)								
15回	療養場所や介入時期に応じた看護:療養者と家族の意向に沿った看護、看護師の役割(窪田静)								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
	成績評価方法及び基準								
課題(事前	学習を含む)(50%)、筆記試験(40%)、授業での取組み・貢献(10%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。								
#10CE (3.13.	THE ELECTION PROPERTY OF THE P								
	正野逸子・本田彰子(2018)「関連図で理解する在宅看護過程第2版」(メヂカルフレンド社)								
	臺 有桂 編集(2022) 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア第7版(メディカ出版);2年次・3年次に在宅看護対象論・方法論で								
教科	使用したもの 臺 有桂 編集(2022) 地域・在宅看護論(2)在宅療養を支える技術第2版(メディカ出版);2年次・3年次に在宅看護対象論・方法論で								
	使用したもの								
	窪田静(2019) 「楽に動ける福祉用具の使い方」(看護協会出版会);2年次に在宅看護対象論で使用したもの 山田雅子編集(2014)映像で感じ、考える、これからの在宅看護論全5巻(東京サウンドプロダクション)								
参考図	書等 戸村ひかり(2019)よくわかる退院支援(Gakken)								
	授業時間外の学習について(授業準備のための指示)								
	と自己学習をして講義・演習に参加してください。								
有息義な:	グループワークを実施するため、積極的な参加を期待します。								

 関連科目

 前科目 237 在宅看護対象論
 204 生活援助技術論 I
 166 社会保障制度論(共 231 地域看護学概論 232 家族看護論

 後科目 239 在宅看護論実習
 本会保障制度論(共 231 地域看護学概論 232 家族看護論

実務家教員										
看護師 (医療機関)	窪田 静	長尾 奈美	吉田 美由紀*							
保健師(行政機関)	奥田 美惠	瀬戸 裕一	河野 瑠奈							
備考										